

墨田区食育推進計画における「定性的な評価」の検討について(案)

1 墨田区食育推進計画の評価指標について

墨田区食育推進計画では、目標の達成状況を把握する評価指標として、基本目標を柱とした量的及び質的な項目を設定している。

- (1) 計画策定の趣旨である「持続可能な協創」の食育から、これまで育まれてきた「食育」の実践活動に着目し、「食」を通して生まれた「行動の変化」を明らかにしていく。
- (2) すみだがめざす食育の姿「みんなが笑顔でたのしい食環境を通じて豊かな人生をおくる」と、「計画の全体像」が、どのように推進されているかについて、区民等と区の両面から検討・調査する。

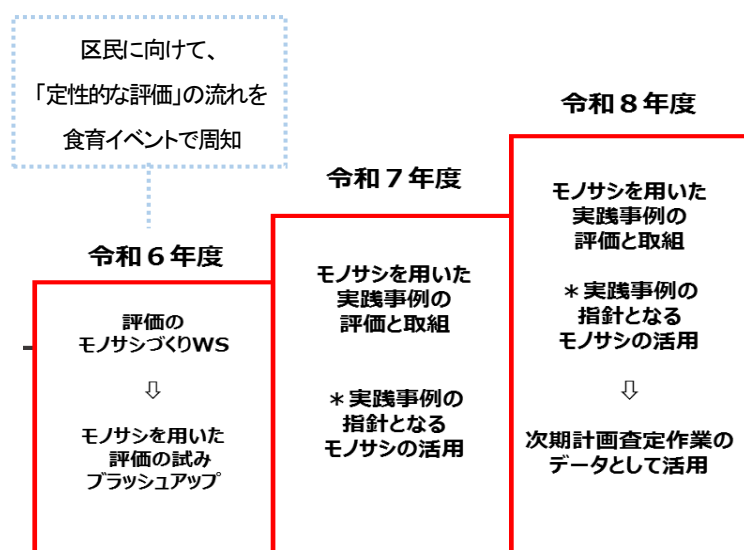
<定性的な評価の指標と項目>

基本目標	3つの評価指標	6つの評価項目
 ひと  まち  こよりゆう  あんしん  きょうどう	1. 体験に基づく知識や実践等の蓄積を把握する指標	(1)「食育」または「食」に関する体験を通して、どのような知識、実践等の蓄積があったか。
	2. 次世代の担い手の育成状況を把握する指標	(2)取組を通じてビジョンや想いの共有をどのように行っているか。 (3)参加者の自主性を促し、行動の変化をもたらすために、どのような仕掛けづくり・しくみづくりを行っているか。
	3. 持続可能な推進体制を把握する指標	(4)取組を日常的な活動にどう結びつけているか。 (5)取組をより魅力的にするために、どのような仕掛けづくりを行っているか。 (6)より多くの異なる立場の人や団体等との協働をどのように行っているか。

※「5つの行動のステップによる食育の展開(すみだ方式)」の視点も捉えていく。

(3) 令和6年度～令和8年度のスケジュールについて

令和5年第2回すみだ食育推進会議において以下のスケジュールにて検討することとなった。



※令和5年度第2回すみだ食育推進会議 資料9より抜粋

2 「定性的な評価」の検討体制について(資料7)

すみだ食育推進会議の専門部会として「(仮称)墨田区食育推進計画評価検討会議」を設置し、区民等の参加による「定性的な評価」ワークショップを開催し「すみだの食育」における「定性的な評価」の独自モデルの検討体制を整える。

3 (仮称)墨田区食育推進計画評価検討会議の設置について

墨田区食育推進計画では、目標の達成状況を把握する評価指標として、基本目標を柱とした量的及び質的な項目を設定している。そのうち定性的な評価については、令和5年度に行った「定性的な評価」ワークショップにて、令和6年度～令和8年度にかけて区民等と区で共に「すみだの食育」における「定性的な評価」の独自モデルを作成することとした。

については、独自モデル作成の方向性や実施方法等の検討を行うため「墨田区食育推進計画評価検討会議」を設置する。なお、本検討会議は、すみだ食育推進会議の専門部会として位置付けることとする。

(1)委員数等(案) 5名

■すみだ食育推進会議委員及び令和5年度墨田区食育推進計画定性評価検討会議 4名

■墨田区職員 1名

墨田区保健衛生担当次長

(2)開催時期等(予定)

	開催時期(予定)	主なテーマ(予定)
第1回	7月～8月	定性的なワークショップの実施内容等について
第2回	12月	定性的なワークショップの結果と「定性的な評価」の独自モデル(案)について

* 第1回会議後に「定性的な評価ワークショップ」を開催

* 第2回会議後に「第2回すみだ食育推進会議」へ報告

4 (仮称)「定性的な評価」ワークショップについて

令和5年度に開催された墨田区食育推進計画定性評価検討会議及び、「定性的な評価」ワークショップにおいて、定性的な評価は、計画の策定趣旨である「持続可能な協創」の食育を実現していくため、「すみだらしい食育」について明確化し、「すみだの食育」独自の評価モデルを作成していくこととなった。

そこで、今年度はすみだの「すみだの食育」における「定性的な評価」の独自モデルを検討し、作成に向けたワークショップを開催する。

(1)参加者(案) 約30名程度

ワークショップの参加者は、区民等と区の関係者により構成する。

■すみだ食育推進会議委員

■(仮称)墨田区食育推進計画評価検討会議委員

■すみだの食育における特徴的な活動事例の関係者

■墨田区職員(行政栄養士、栄養教諭、庁内食育関連事業担当者会議委員等)

(2) 開催時期(予定) * 会議の進捗状況等により日程が変動する場合あり

	開催時期(予定)
第1回	8月～9月
第2回	9月～10月
第3回	10月～11月

上記のワークショップの内容については、(仮称)墨田区食育推進計画評価検討会議の検討結果を受けて決定する。